

子どもの読書活動に関するアンケート

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、子どもの読書活動の現状を把握するとともに、子どもの読書活動に影響を与える要因との関連を明らかにすることにより、本市の子どもの読書活動推進計画の策定に資することを目的に「子どもの読書活動に関する意識調査」及び「読書活動団体実態調査」として実施した。

2. 調査対象者

- ①市立小学校2年生の児童及びその保護者
- ②市立小学校5年生の児童及びその保護者
- ③市立中学校2年生の生徒及びその保護者
- ④県立，市立，私立高校2年生の生徒及びその保護者
- ⑤子が1歳半，3歳の未就学児の保護者
- ⑥読書活動団体（総合図書館団体貸出利用団体及び公民館の文庫活動団体）

3. 調査方法

- ①
 - ②
 - ③
- 教育委員会の巡回メール便を使い，配布・回収を行った。
- ④市立高校については教育委員会の巡回メール便，県立，私立高校については直接訪問して配布・回収を行った。
 - ⑤保健所での定期健診（1歳6か月及び3歳児健診）時に直接配布し，郵送によって回収を行った。
 - ⑥郵送によって配布・回収を行った。

4. 調査実施期間

平成16年6月30日～7月30日

5. 回収状況

	設定数(人・団体)	回収数(人・団体)	回収率(%)
小学校2年生とその保護者	600	404	67.3
小学校5年生とその保護者	600	409	68.2
中学校2年生とその保護者	600	446	74.3
高校2年生とその保護者	600	496	82.7
未就学児の保護者	600	151	25.2
読書活動団体	255	128	50.2

6. 報告書の見方

- (1) N (number of cases の略) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答者が2つ以上の回答をすることができる質問では、回答件数の合計は回答者数(100%)を超える。
- (3) 回答はすべて百分比(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。
- (4) 図表において、比率が少ない選択肢については、見出しや比率の表示を省略している場合がある。
- (5) 図表および文章中では、調査票の選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

II. 標本構成

1. 子ども

● 学年別

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生	高校2年生
964(人)	228	219	247	270
100.0(%)	23.7	22.7	25.6	28.0

2. 保護者

● 子どもの学年別

サンプル数	就学前保護者	小2保護者	小5保護者	中2保護者	高2保護者
942(人)	151	176	190	199	226
100.0(%)	16.0	18.7	20.2	21.1	24.0

3. 団体

● 種類別

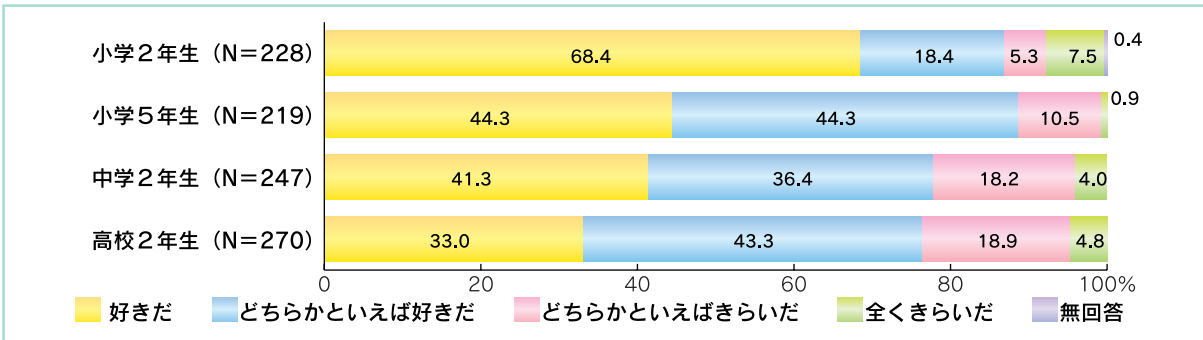
サンプル数	公民館	留守家庭	小学校	集会所	その他
128(団体)	45	36	16	17	14
100.0(%)	35.2	28.1	12.5	13.3	10.9

- (注) 公民館：公民館の文庫活動団体
 留守家庭：留守家庭子ども会
 小学校：小学校の文庫活動団体
 集会所：集会所の文庫活動団体
 その他：その他の文庫活動団体

Ⅲ. 子どもの読書活動に関する意識

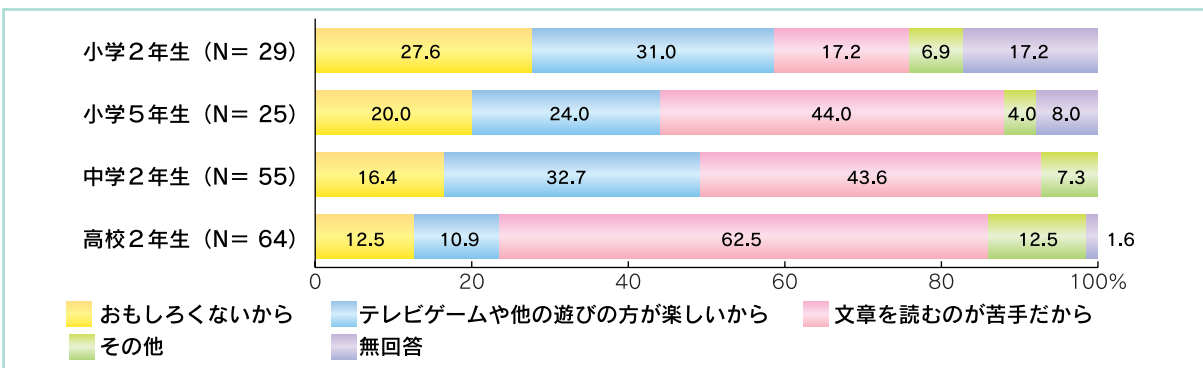
1. 読書の好き嫌い

読書の好き嫌いについては「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた『好き』が小学2年生で**86.8%**、小学5年生で**88.6%**、中学2年生で**77.7%**、高校2年生で**76.3%**となっており、多くの子どもたちが読書は好きと答えている。



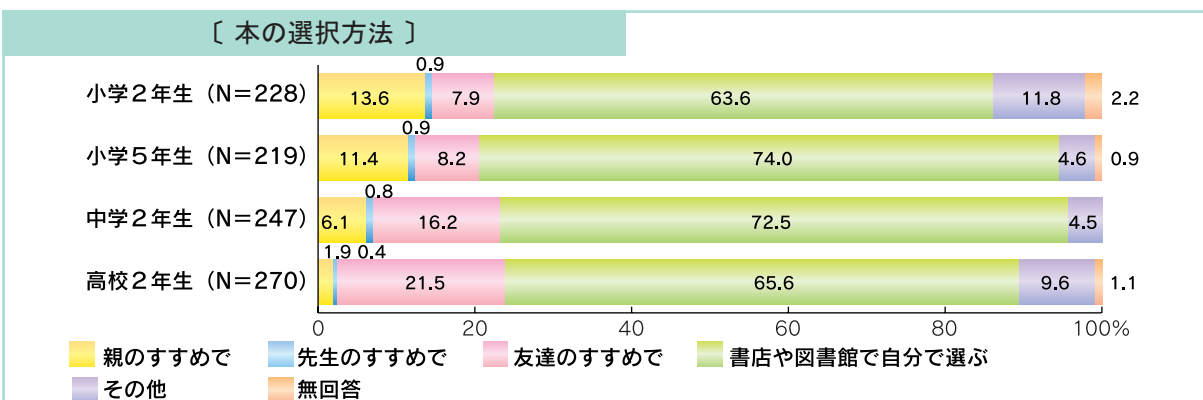
2. 読書が嫌いな理由

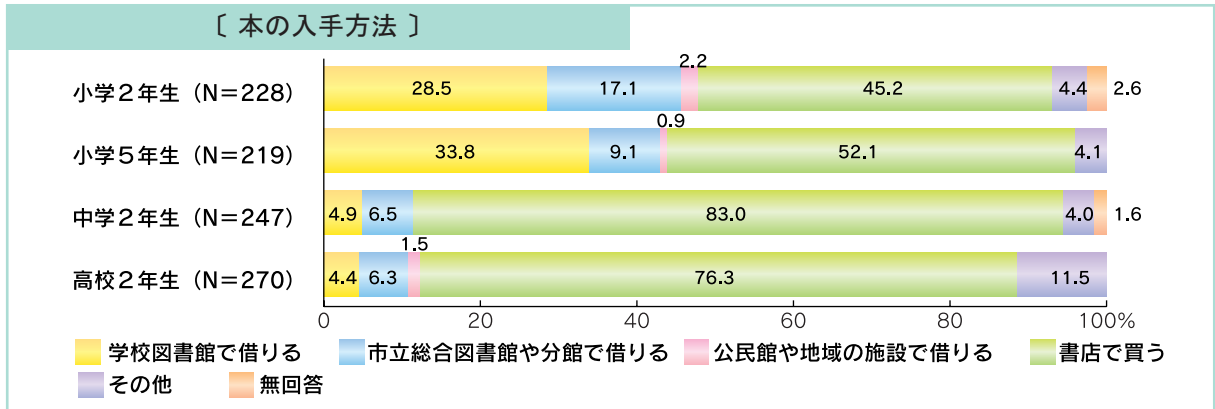
読書が嫌いな理由としては、小学2年生では「テレビゲームや他の遊びの方が楽しいから」が最も多いが、小学5年生以上になると「文章を読むのが苦手だから」といった読書離れとも受け取れるような回答が増加していく。



3. 本の選択方法と入手方法

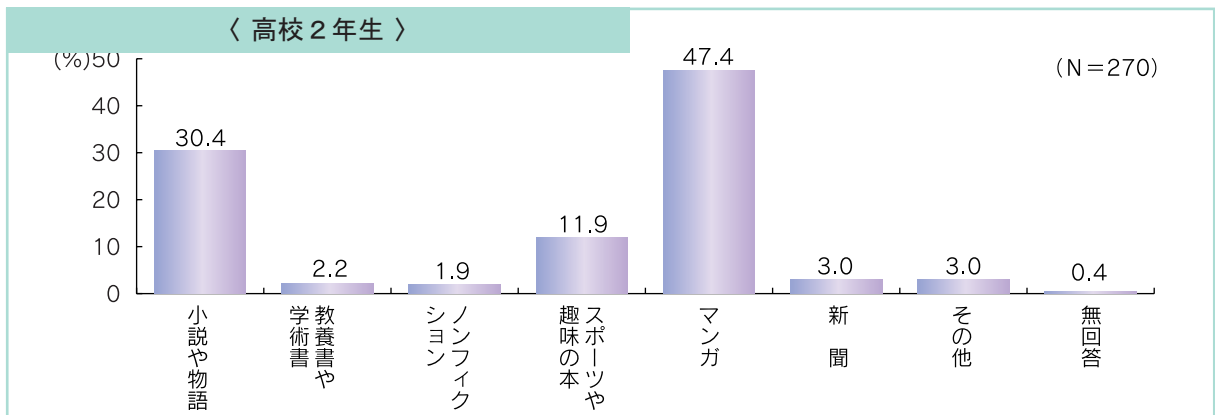
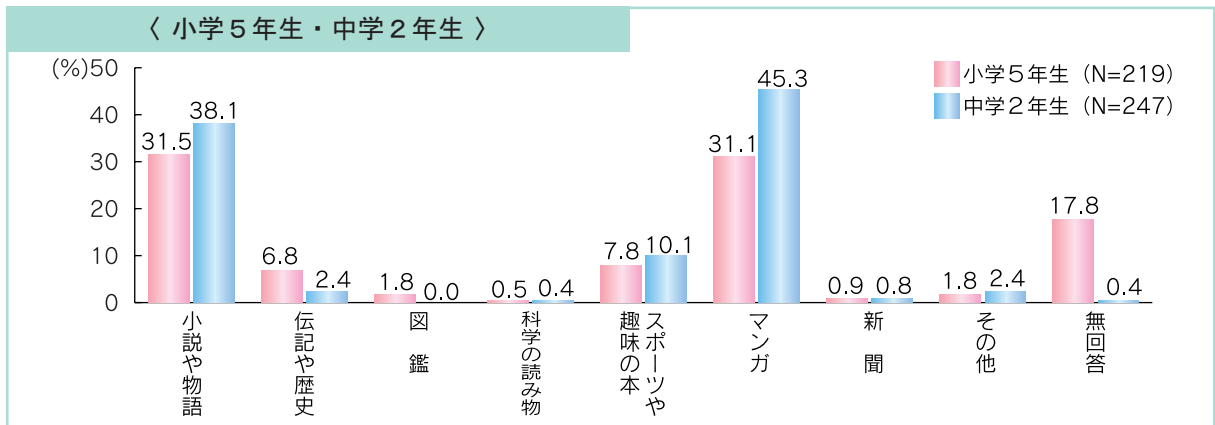
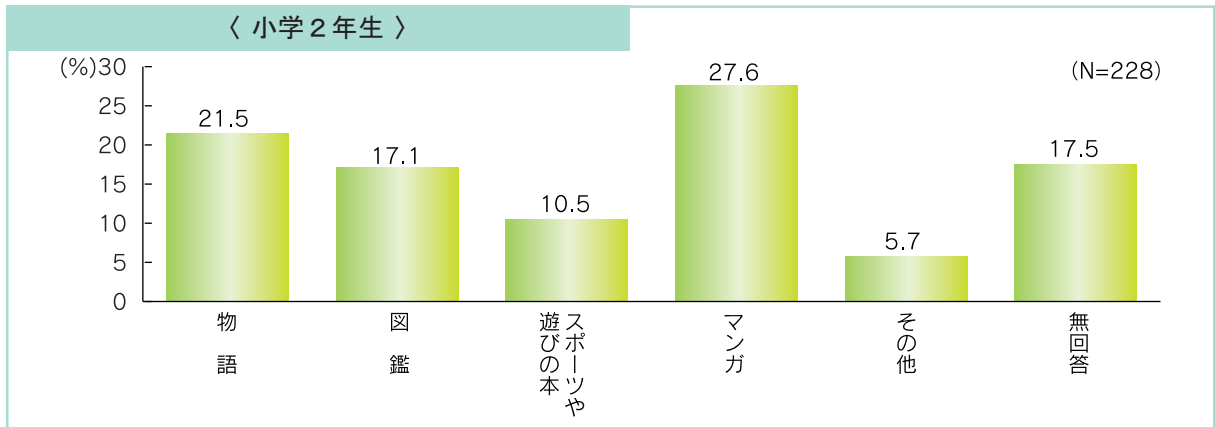
本の選択については、6～7割が自分で選んでおり、他に何かを参考とすることは少ない。また、入手方法については小学2年生（「借りる(学校図書館・市立総合図書館などで)」が第1位、「書店で買う」が第2位）を除いて書店からの購入が一番多い。特に、中・高校生では、図書館の利用が小学生に比べて大幅に少なくなっている。





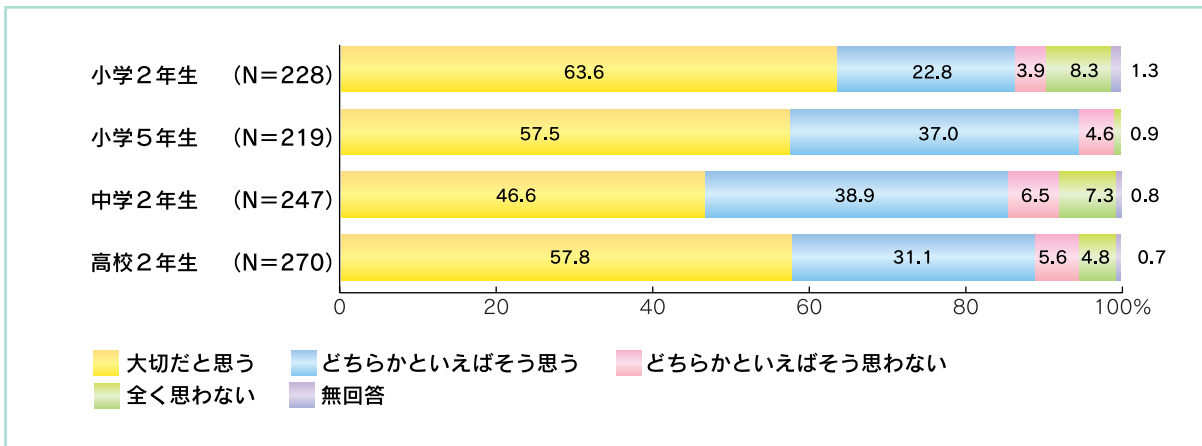
4. 好きな本の種類

好きな本の種類は、小学5年生（「小説や物語」が第1位、第2位が「マンガ」）を除いて、「マンガ」が第1位を占め、次いで「小説や物語」となっている。



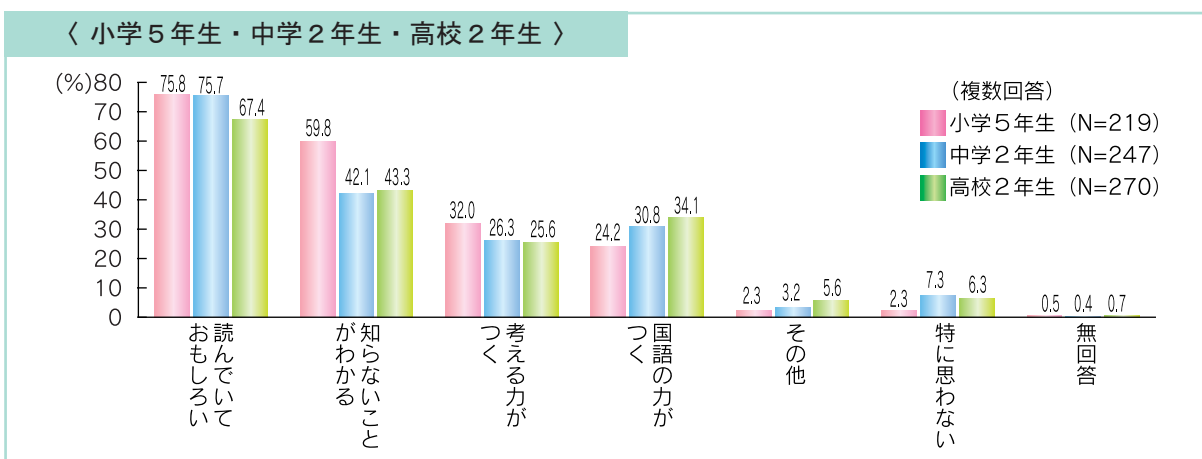
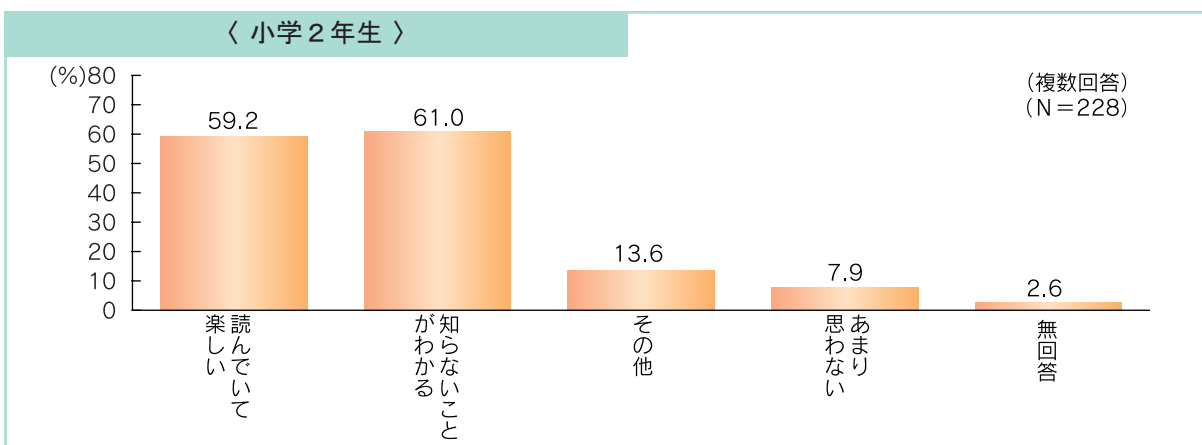
5. 読書の大切さ

読書の大切さについては、「大切だと思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて小学2年生で**86.4%**、小学5年生で**94.5%**、中学2年生で**85.5%**、高校2年生で**88.9%**となっており、多くの子どもたちが読書の大切さについては十分に認識をしているものと思われる。



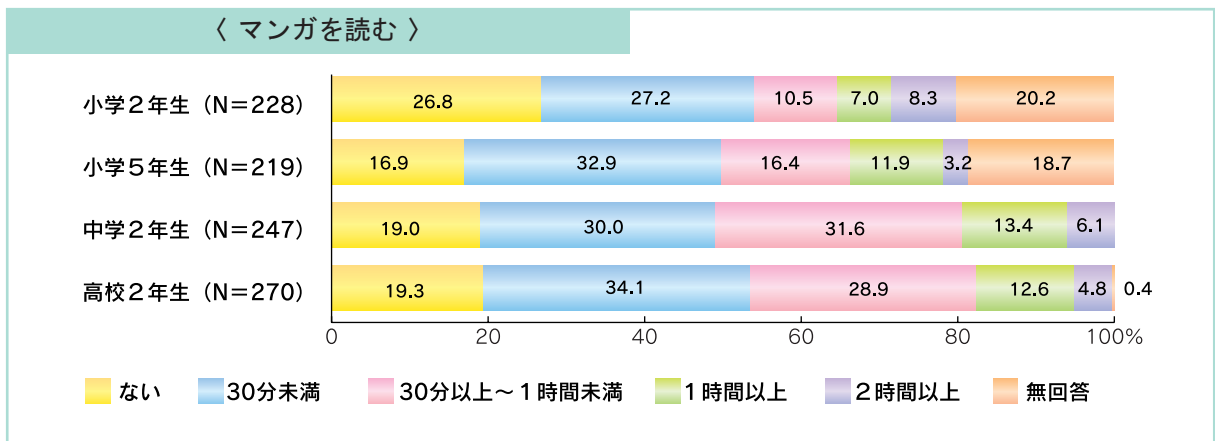
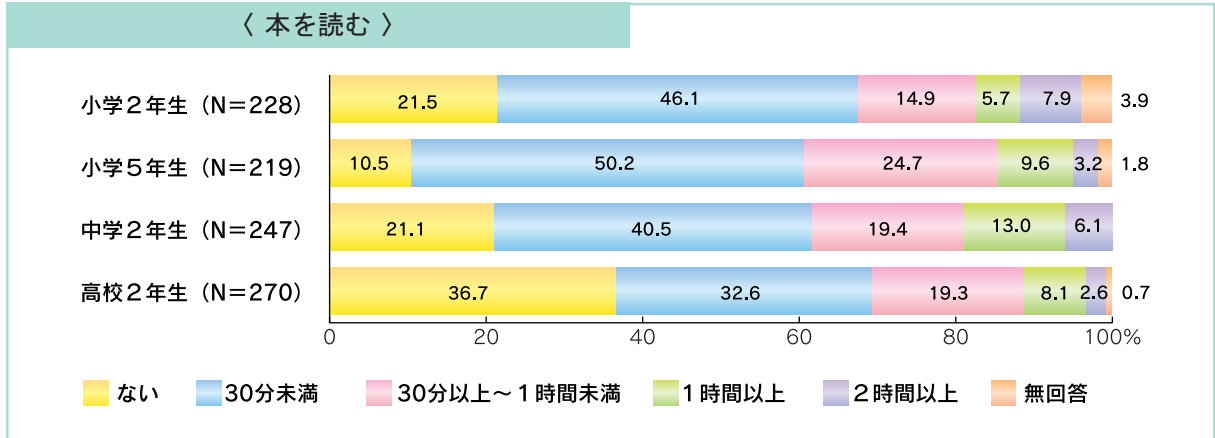
6. 本を読んで良い点

本を読んで良い点については、小学2年生では、第1位が「知らないことがわかる」、第2位が「読んでいて楽しい」でほぼ同じ割合であげられている。小学5年生以上では第1位が「読んでいておもしろい」、第2位が「知らないことがわかる」があげられ、第3位は小学5年生では「考える力がつく」、中学生以上では「国語力がつく」となっている。



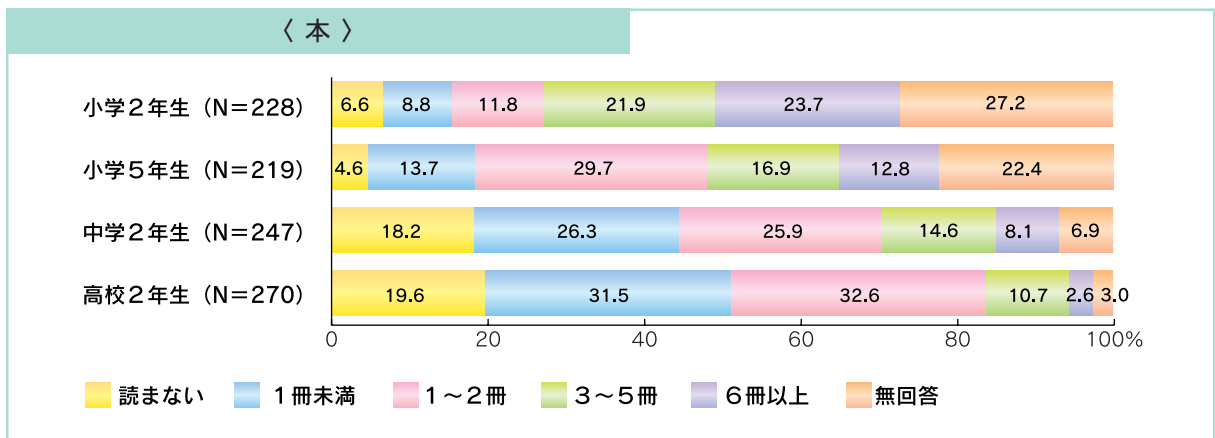
7. 平日の時間の使い方

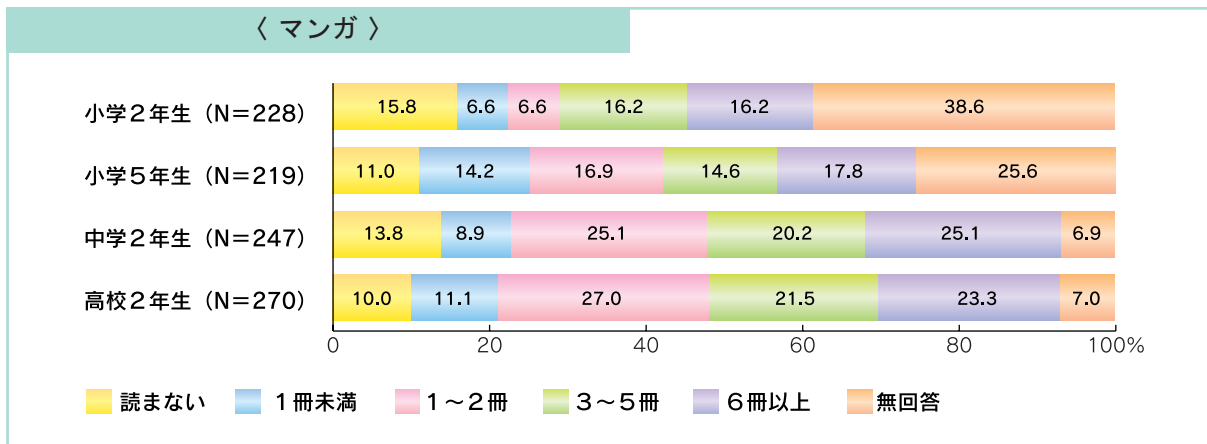
平日の読書時間を本とマンガについてみると、本では、小・中学生では「30分未満」が多いが、高校生になると全体的に読書時間も短くなるとともに、本を読まない子どもが、約4割に急増するなど、学年における違いがうかがえる。なお、マンガでは「30分未満」が多いが、本ほど学年別の違いはみられない。



8. 月間読書冊数

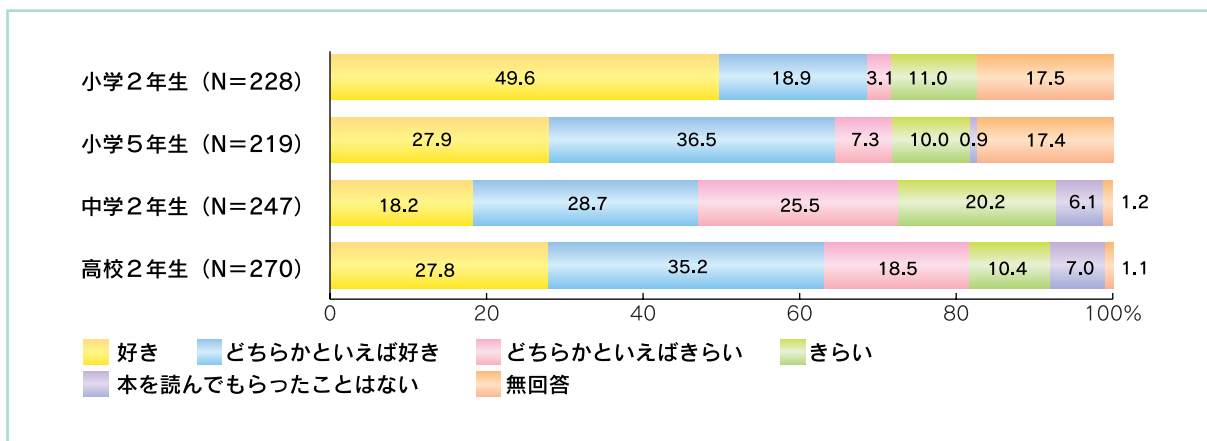
月間の読書冊数を本とマンガについてみると、まず本では、小学2年生で「6冊以上」が最も多いが、小学5年生、高校2年生は「1～2冊」、中学2年生は「1冊未満」が一番多くなっている。しかし、マンガについては、高校2年生を除き各学年とも「6冊以上」が多く、本のような学年による違いは少ない。





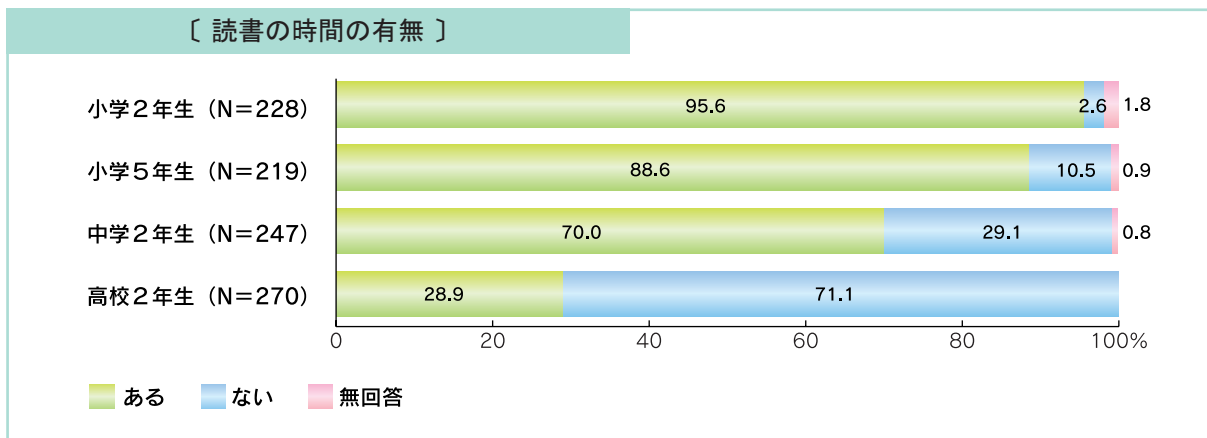
9. 本の読み聞かせについて

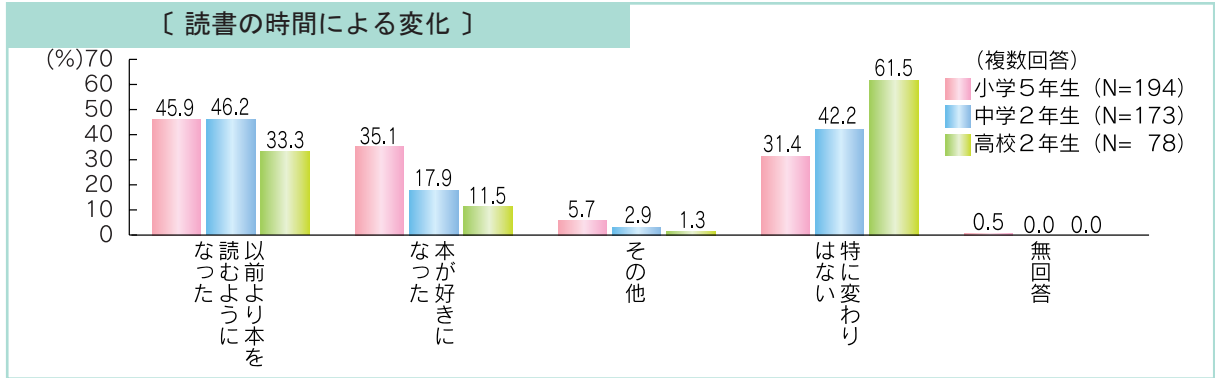
本の読み聞かせについては、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』が小学2年生で**68.5%**、小学5年生で**64.4%**、中学2年生で**46.9%**、高校2年生で**63.0%**となっており、中学2年生でやや低くなっている。



10. 学校のクラスでの読書の時間

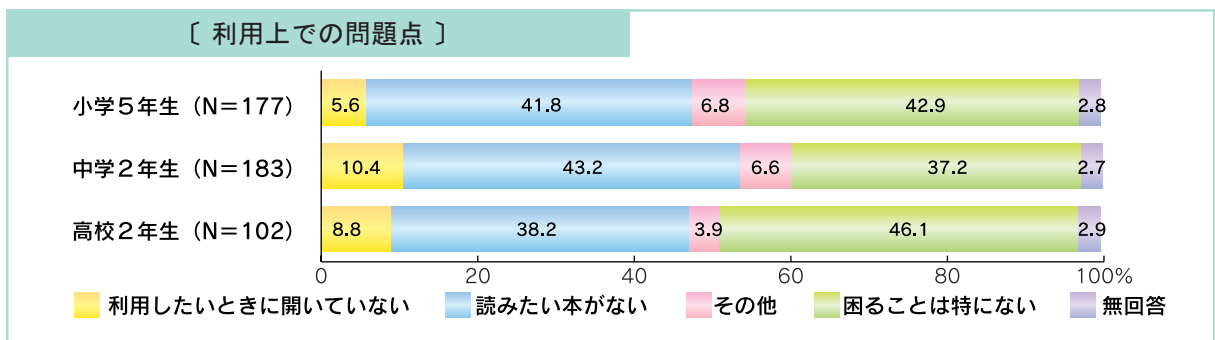
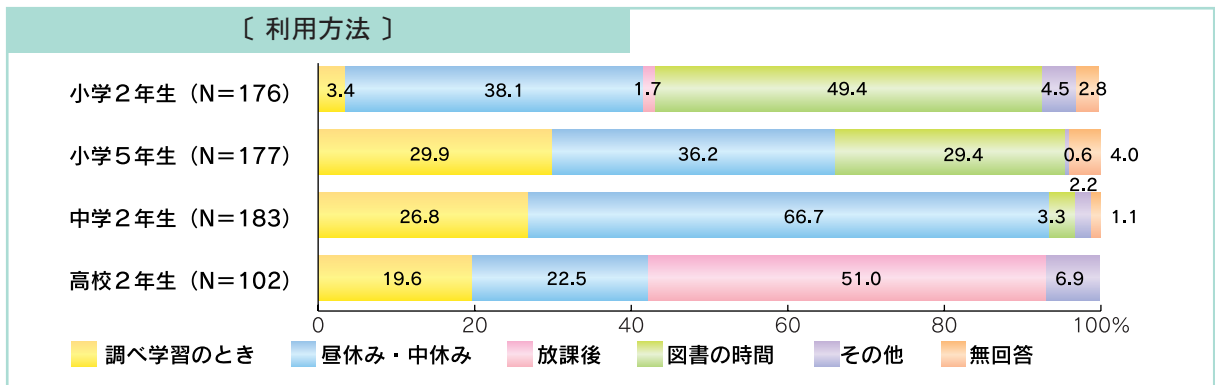
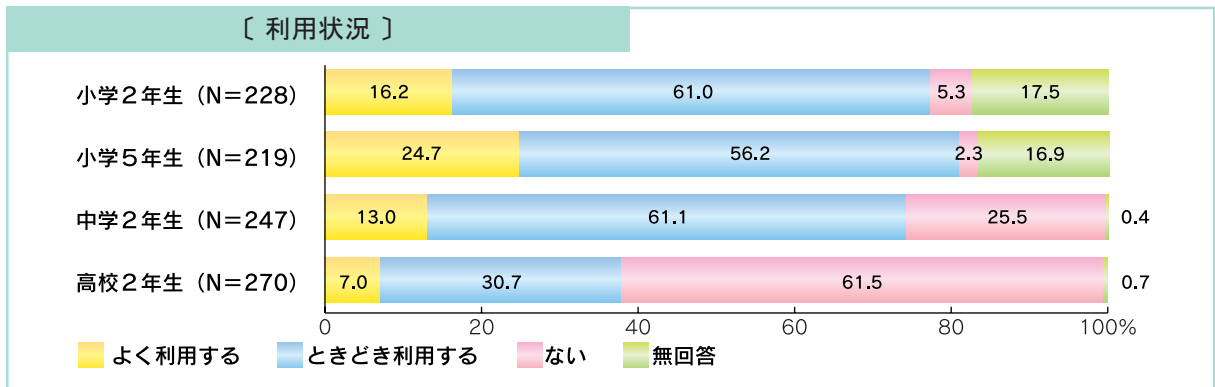
学校のクラスでの読書の時間の有無については、小学校で8割以上、中学校で7割、高校で約3割が「ある」と答えている。読書の時間が「ある」ことに対しては、小学5年生では「本が好きになった」や「以前より本を読むようになった」など肯定的なとらえ方をしているが、高校生では「特に変わりはない」といった意見が過半数を占める。





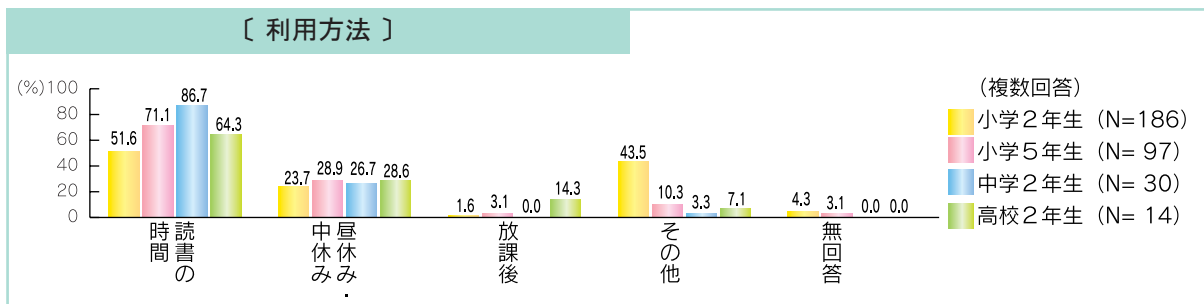
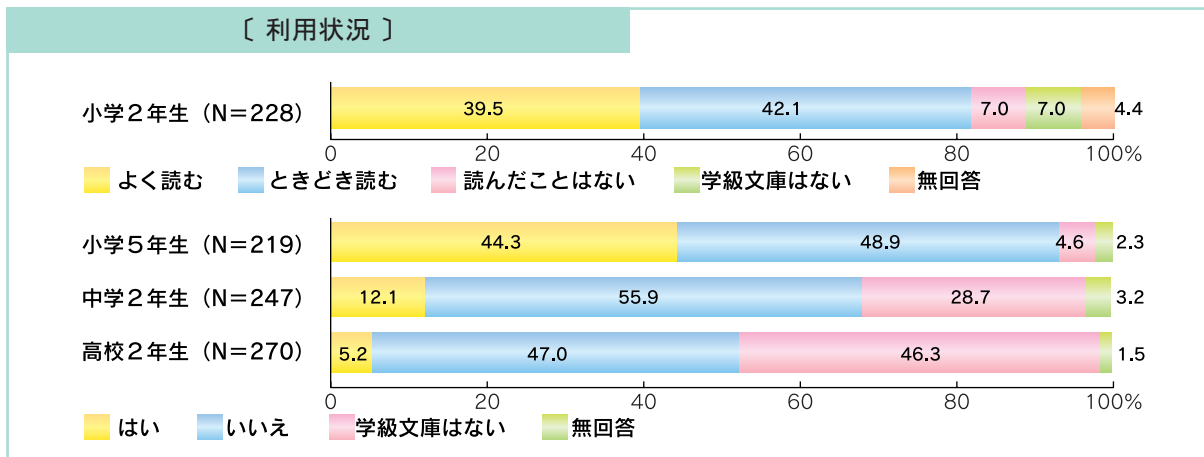
11. 学校図書館の利用状況

学校図書館を「よく利用する」と「ときどき利用する」を合わせた割合は小学2年生が77.2%，小学5年生が80.9%，中学2年生が74.1%，高校2年生が37.7%となっている。利用方法としては小・中学生では「昼休み・中休み」「調べ学習のとき」「図書の日」が多いのに対し、高校生では「放課後」が多くなっているなど、利用時間帯に違いがみられる。なお、図書室を利用する際の問題点としては「読みたい本がない」が約4割と最も多くなっている。



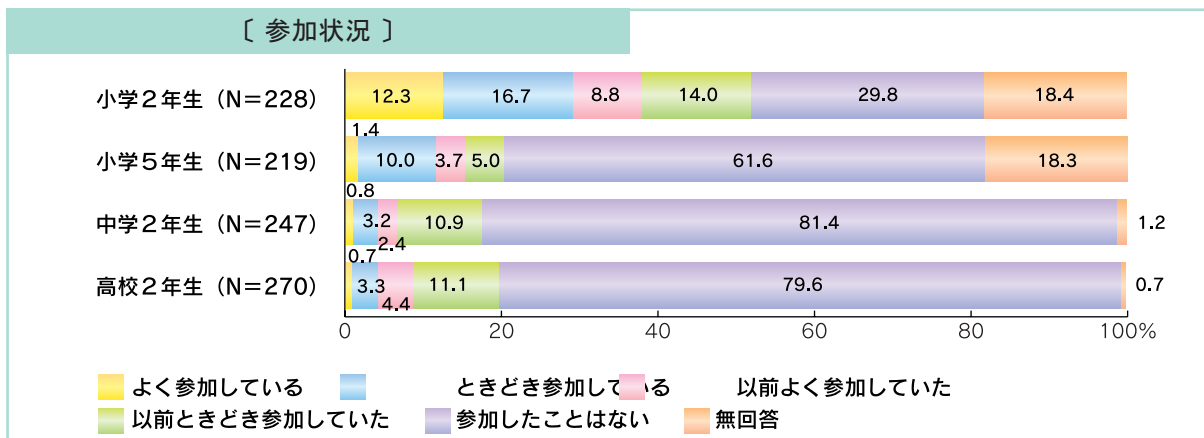
12. 学級文庫の利用状況

学級文庫の利用については、「利用している」が小学2年生の**81.6%**、小学5年生の**44.3%**以外は中学2年生**12.1%**、高校2年生**5.2%**と、あまり利用されていないようである。利用方法としては、各学年とも「読書の時間」が最も多く、次いで「昼休み・中休み」となっている。



13. 公民館や地域の文庫活動への参加状況

公民館や地域の文庫活動への現在の参加状況をみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は小学2年生で約3割を占めている。また、「以前参加していた」と「参加している」を合わせた参加経験では、小学2年生が約5割で、小学5年生、中学2年生、高校2年生では2割前後で異なった傾向を見せている。参加目的としては、小学2年生は「お話し会」、小学5年生以上は「本を借りた」が最も多く、利用上の問題点としては、読みたい本がないことへの不満が最も多くなっている。



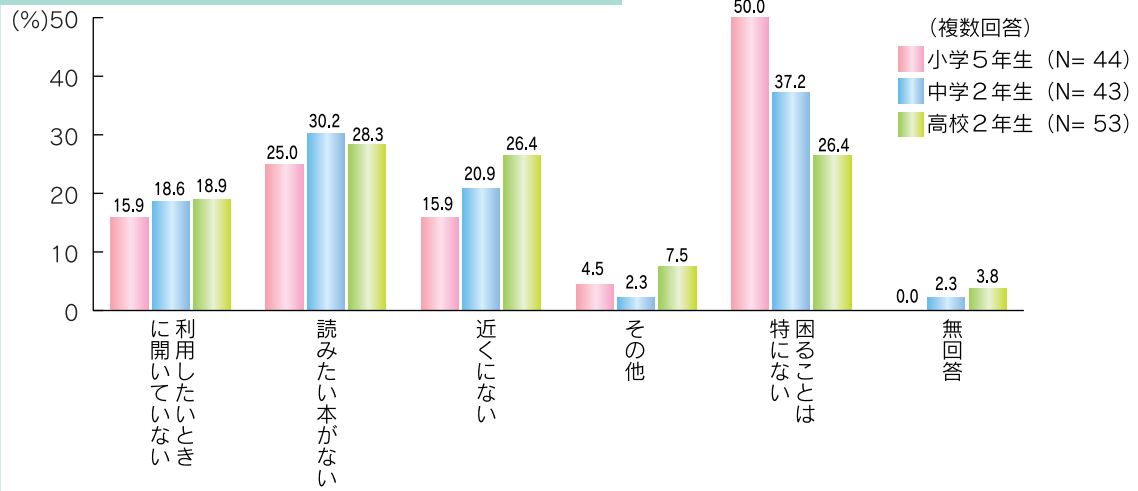
〔参加目的〕

(複数回答)

		サンプル数	お話し	本を借りた	指導者として	その他	無回答
学年別	小学2年生	118	43.2	39.8	*	26.3	6.8
	小学5年生	44	36.4	77.3	-	9.1	-
	中学2年生	43	23.3	79.1	-	9.3	-
	高校2年生	53	17.0	81.1	-	5.7	-

(注) *は未調査項目

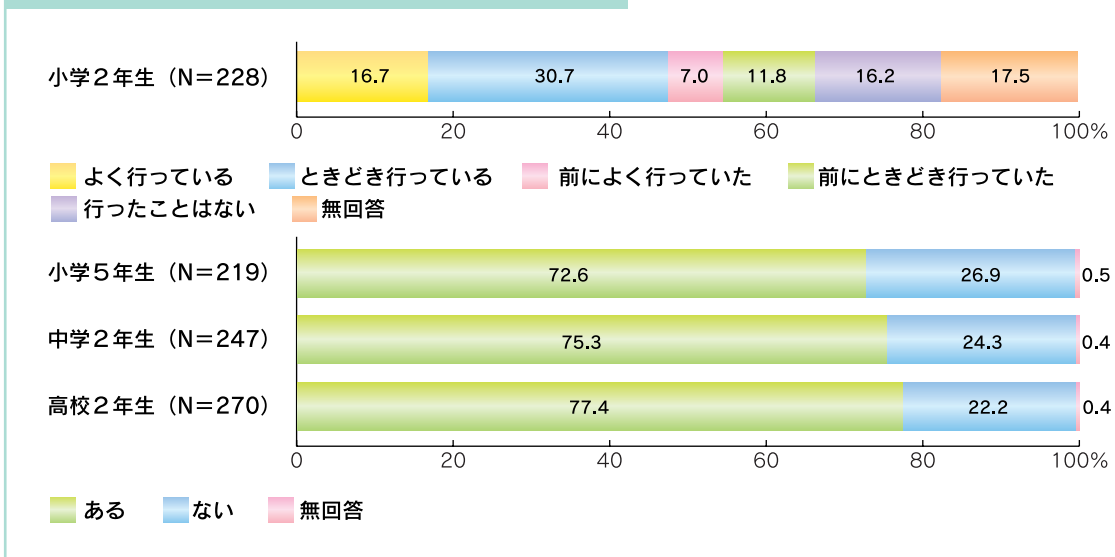
〔利用上の問題点〕



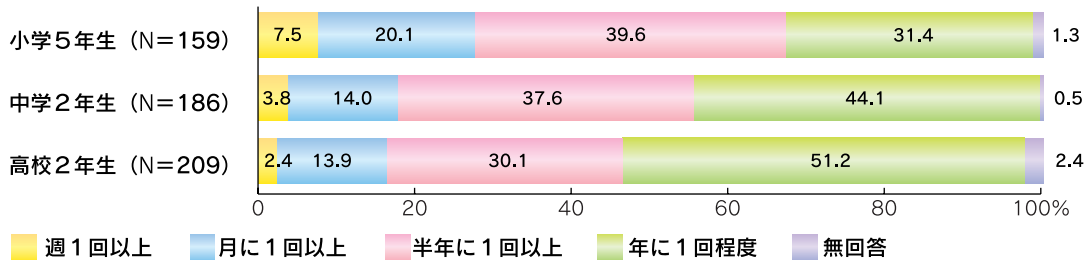
14. 市立図書館への来館状況

市立図書館（総合図書館・分館）への来館経験は、小学2年生（66.2%）を除いて小学5年生以上は「ある」が7割を超えている。来館頻度は、高学年の方が低くなっている。主な目的としては、小学5年生や中学2年生では「本を借りる」が多く、高校2年生では「本を読んだり調べものをする」が多い。また「学習室を利用する」割合も高校生で多くなっている。利用上の問題点としては、「探している本がない」「近くにない」ことへの不満が多くあがっている。

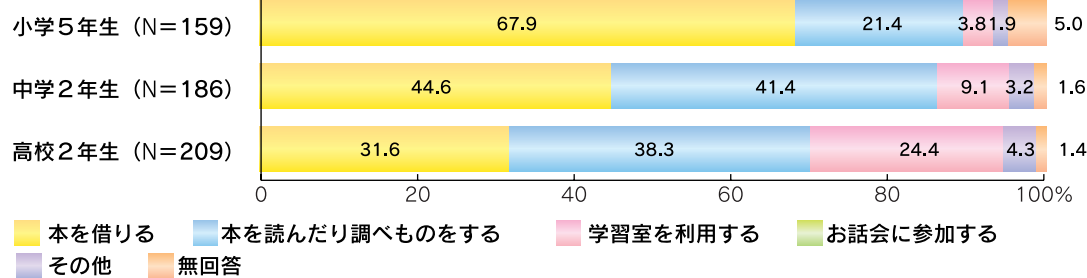
〔来館経験〕



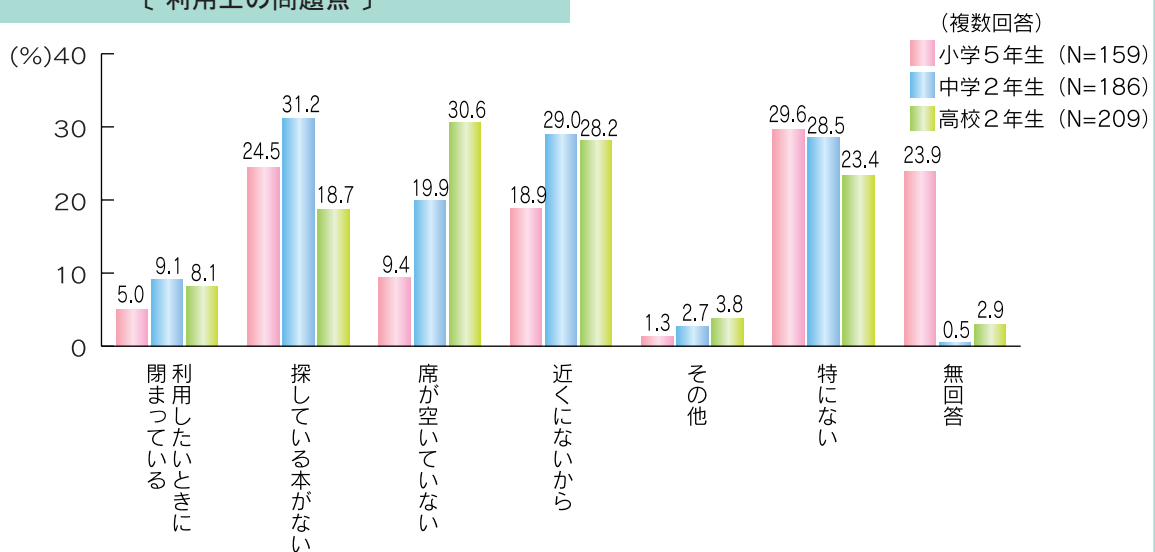
〔 来館頻度 〕



〔 主な目的 〕



〔 利用上の問題点 〕



15. 公共施設内の図書室の利用状況

公共施設内の図書室のなかで、「公民館」と「少年科学文化会館」の2施設が比較的良好に利用されている以外はほんのわずかで、十分に活用されているとは言えない状況にある。

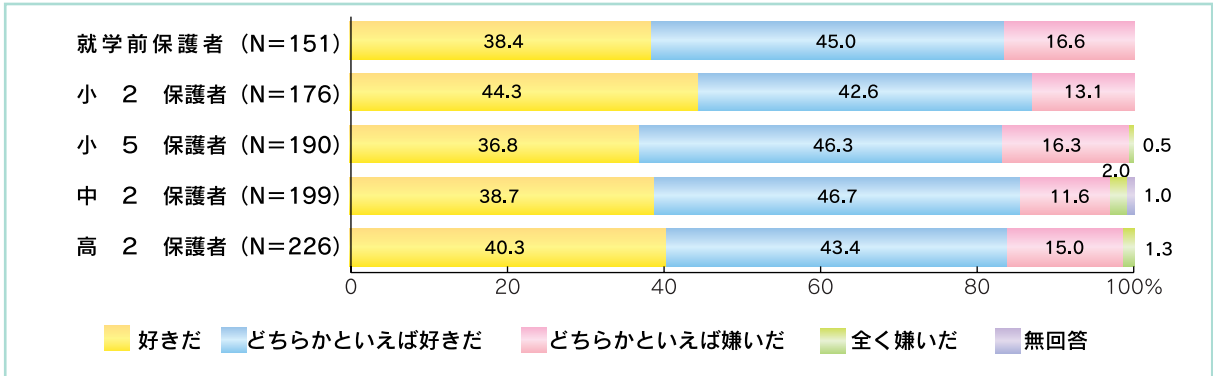
(複数回答)

学年別	サンプル数	公民館	美術館	博物館	少年科学文化会館	中央児童会館	男女共同参画推進センター(アミカス)	健康づくりセンター(あいれふ)	ふくふくプラザ	あまり利用しない	無回答
		小学5年生	219	12.3	0.5	2.3	14.6	2.3	0.5	2.3	1.8
中学2年生	247	10.1	3.2	4.5	6.1	2.0	0.4	2.8	1.2	71.7	6.5
高校2年生	270	7.4	3.3	3.3	1.5	0.7	2.6	0.7	1.1	78.9	4.8

IV. 保護者の読書活動に関する意識

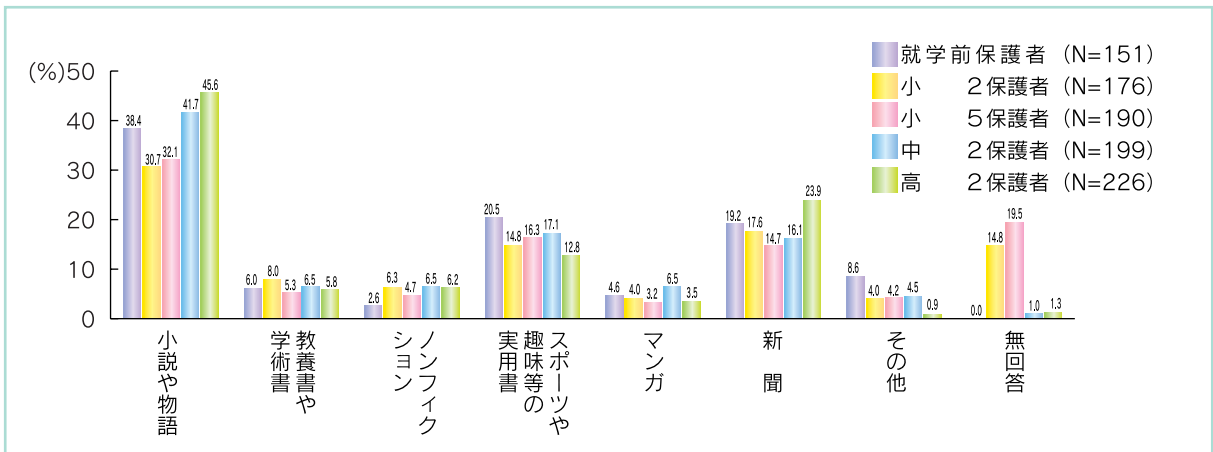
1. 読書の好き嫌い

読書の好き嫌いについて、保護者も子どもたちと同様「好きだ」という回答が8割を超えている。



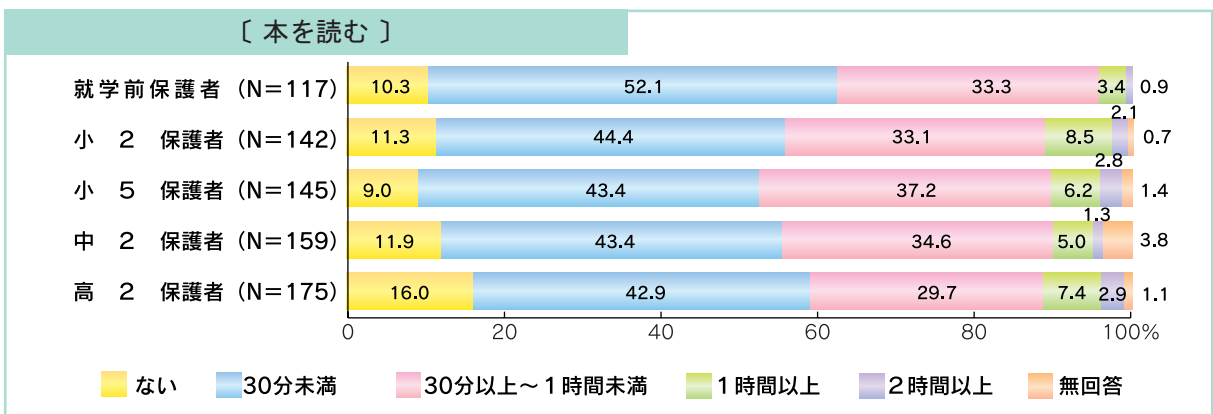
2. 好きな本の種類

好きな本の種類は、「小説や物語」が最も多く、次いで「スポーツや趣味等の実用書」や「新聞」などとなっている。

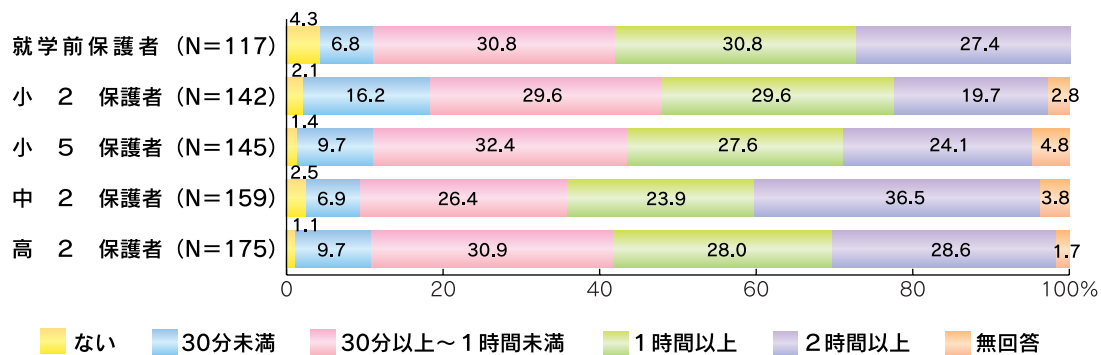


3. 平日における余暇時間の使い方

平日での本を読む時間としては、「30分未満」が最も多く、これに「30分以上～1時間未満」を加えると、読書時間としては「1時間未満」が7割強を占める。テレビを見ない人は非常に少なく、各保護者とも1時間以上見る人が半数前後を占めている。



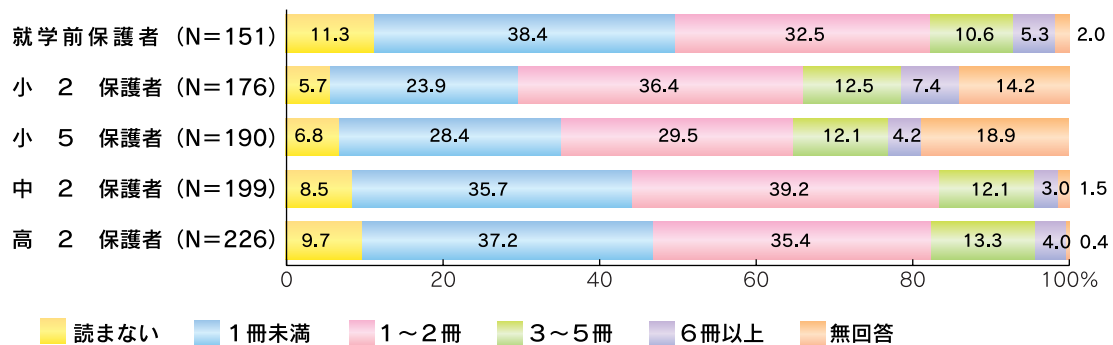
〔 テレビを見る 〕



4. 月間読書冊数

月間の読書冊数は、本では「1冊未満」や「1～2冊」が多く、3冊以上読むという人は少ない。

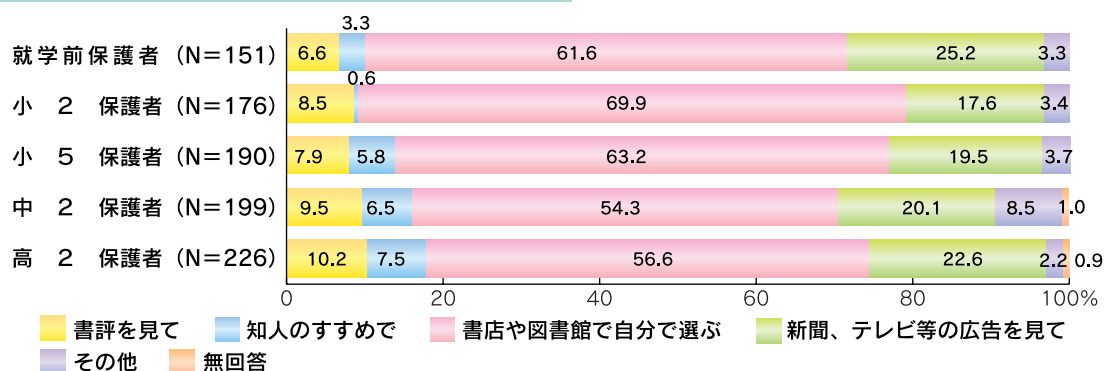
〈 本 〉

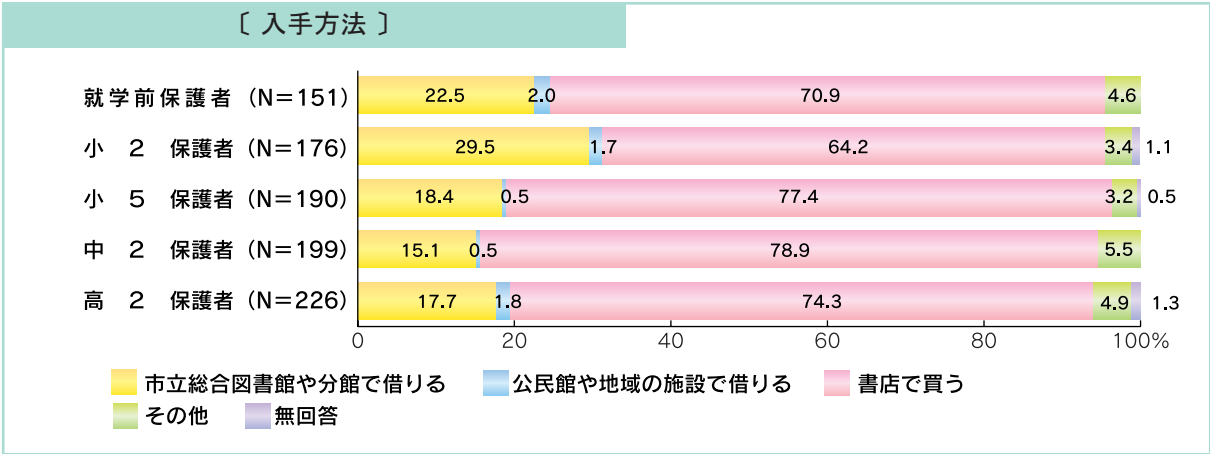


5. 本の選択方法と入手方法

本の選択については、半数以上が自分で選んでいる。入手方法としては、「書店で買う」が圧倒的に多くなっている。

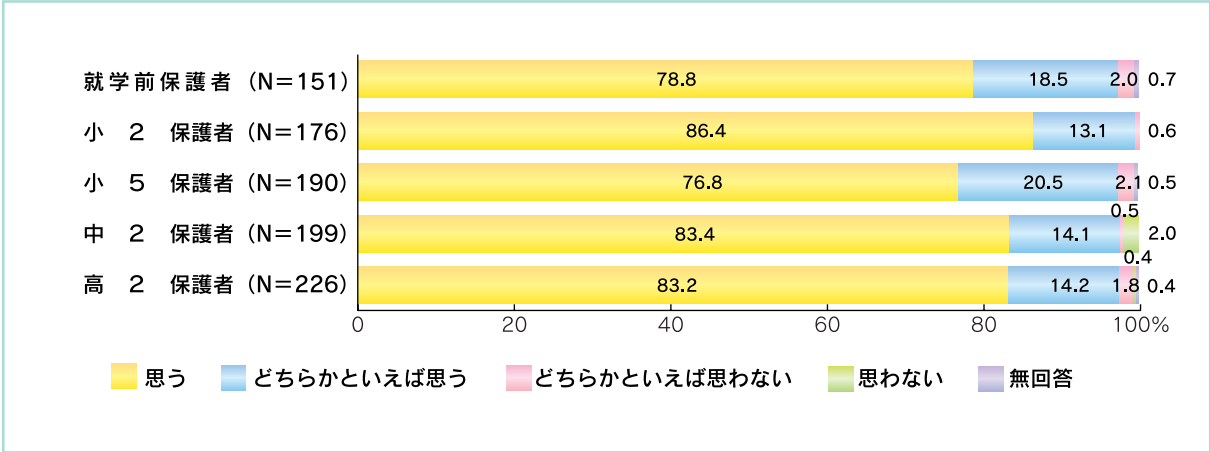
〔 選択方法 〕





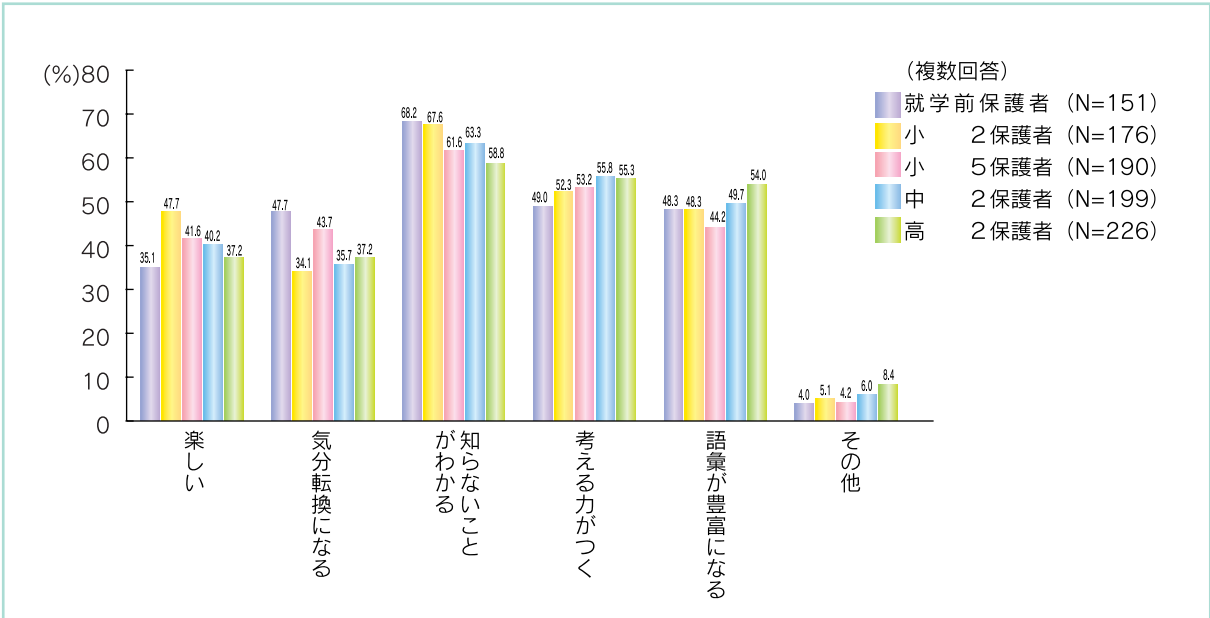
6. 読書の大切さ

読書することの大切さについては、ほとんどの保護者が「そう思う」（「思う」と「どちらかといえば思う」）と答えている。



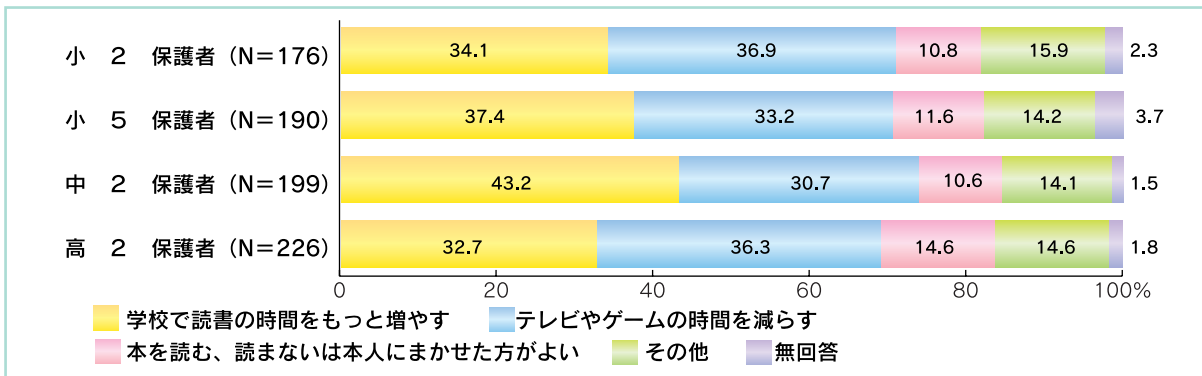
7. 読書の良さ

読書の良さについては「知らないことがわかる」が最も多く、次いで「考える力がつく」「語彙（ごい）が豊富になる」と続いている。



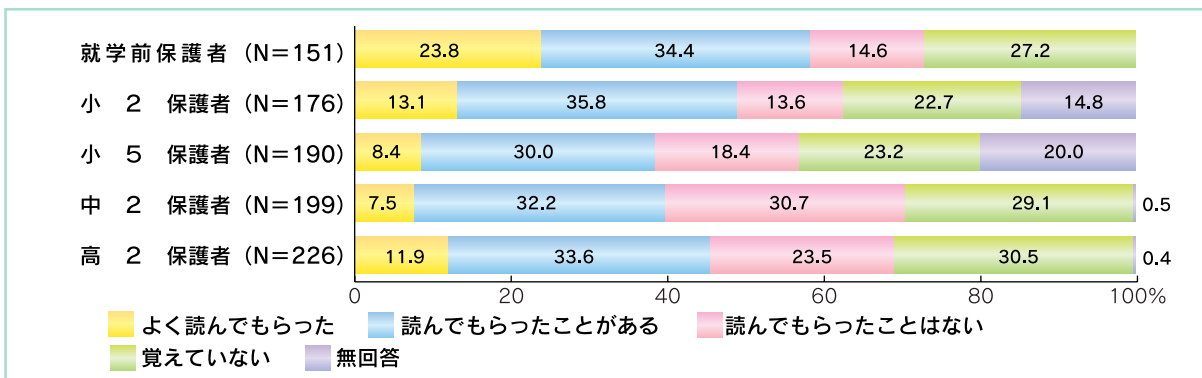
8. 子どもがもっと本を読むようになる方法

子どもがもっと本を読むようになる方法としては、「テレビやゲームの時間を減らす」「学校で読書の時間を増やす」などが多く、学校に期待する人が3～4割となっている。



9. 子どもの頃の読み聞かせについて

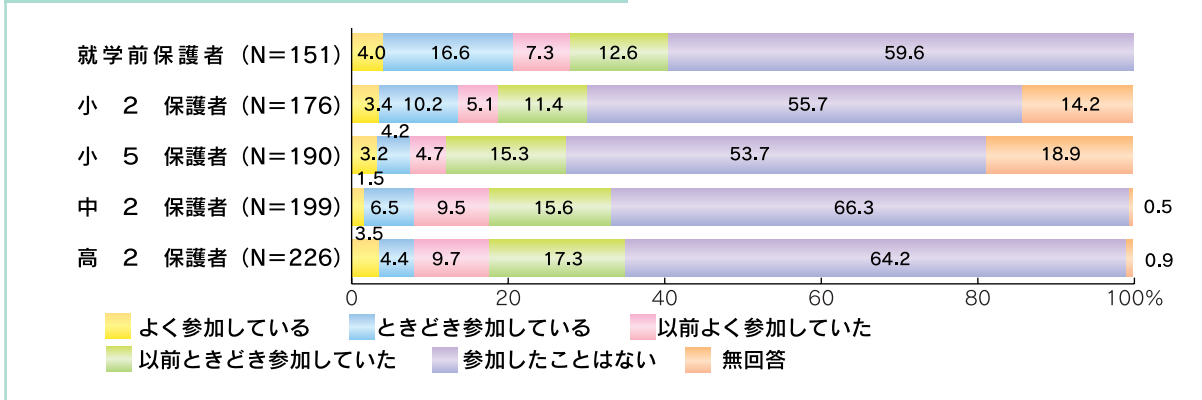
子どもの頃に読み聞かせをしてもらった経験がある保護者は、就学前保護者で**58.2%**、小2保護者で**48.9%**、小5保護者で**38.4%**、中2保護者で**39.7%**、高2保護者で**45.5%**となっている。



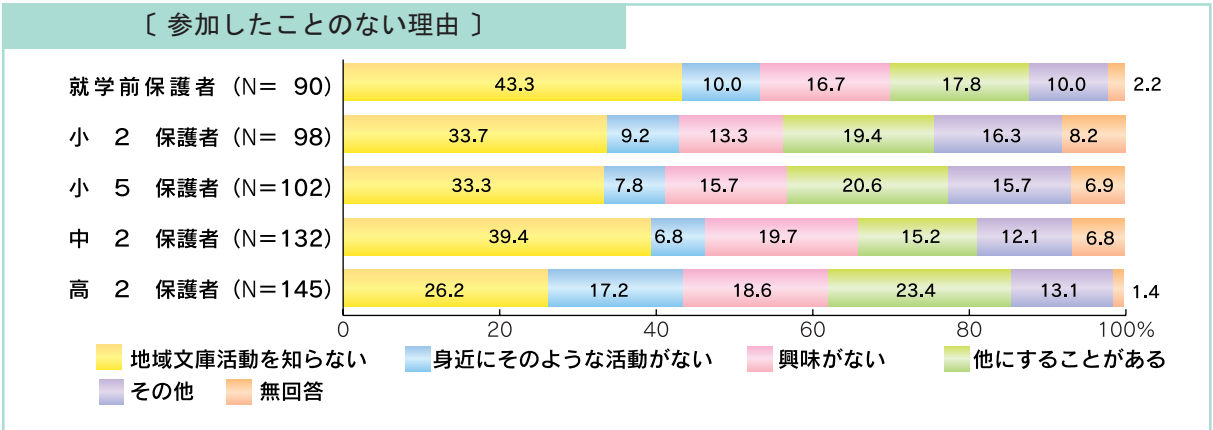
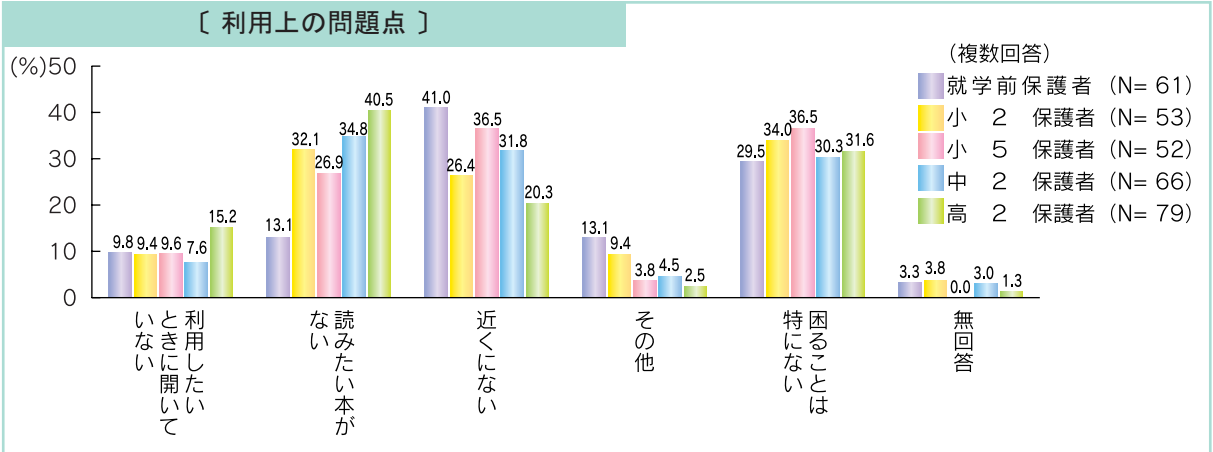
10. 公民館や地域の文庫活動への参加状況

公民館や地域の文庫活動への参加経験をみると、各保護者とも「参加したことはない」が5割を超えるなど、参加経験としてはかんばしくない。その中であって、就学前保護者だけが現在の参加率が2割を超えている。参加内容としては、「本を借りた」人が最も多く、利用上の問題点としては「近くにない」や「読みたい本がない」ことへの不満があげられている。また参加したことの理由としては、「地域文庫活動を知らない」という人が最も多く、PR活動が求められているといえよう。

〔参加経験〕

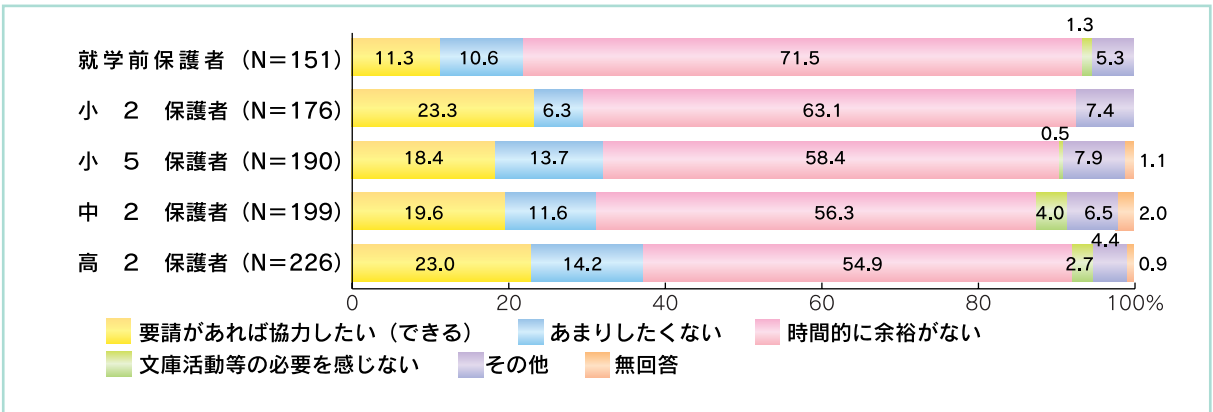


〔参加内容〕		(複数回答)				
		サンプル数	お話し	本を借りた	その他	無回答
子どもの学年別	就学前保護者	61	47.5	77.0	3.3	-
	小2保護者	53	47.2	75.5	-	-
	小5保護者	52	48.1	71.2	5.8	-
	中2保護者	66	42.4	69.7	7.6	3.0
	高2保護者	79	31.6	83.5	10.1	1.3



11. 文庫活動等のボランティア活動

ボランティア活動に協力できるという回答は、各保護者間でバラツキはあるものの多くて2割程度である。協力できない理由としては「時間的に余裕がない」という人が5割以上を占めている。



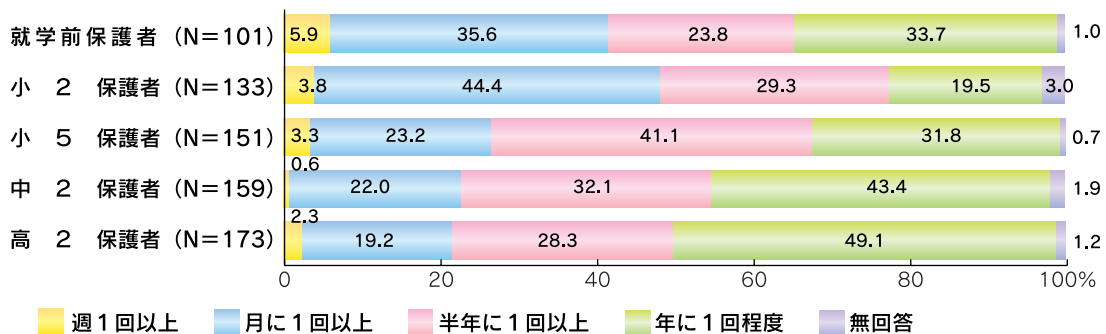
12. 市立図書館への来館状況

市立図書館（総合図書館・分館）への来館経験が「ある」人は、就学前保護者を除き7割を超えている。来館頻度としては、子どもに比べると「月1回以上」が比較的多くみられる。主な目的としては、「本を借りる」が最も多いが、就学前保護者では「子どものため」の来館も多い。また利用上の問題点としては、「探している本がない」や「近くにない」という不満が多くなっている。

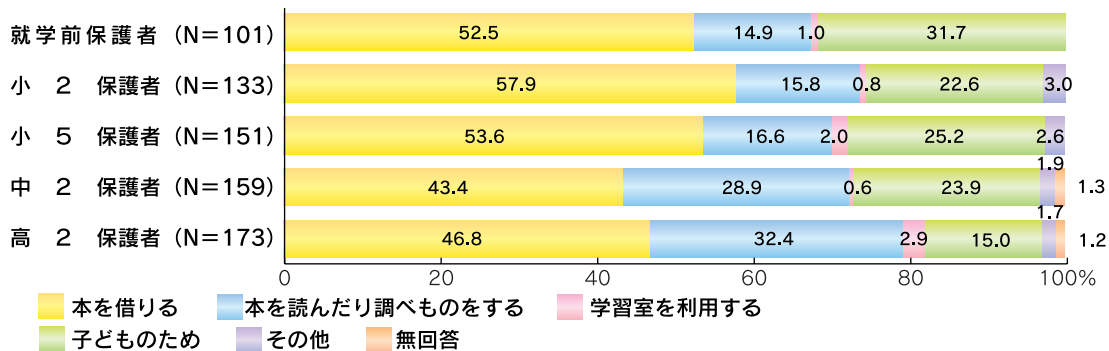
〔来館経験〕

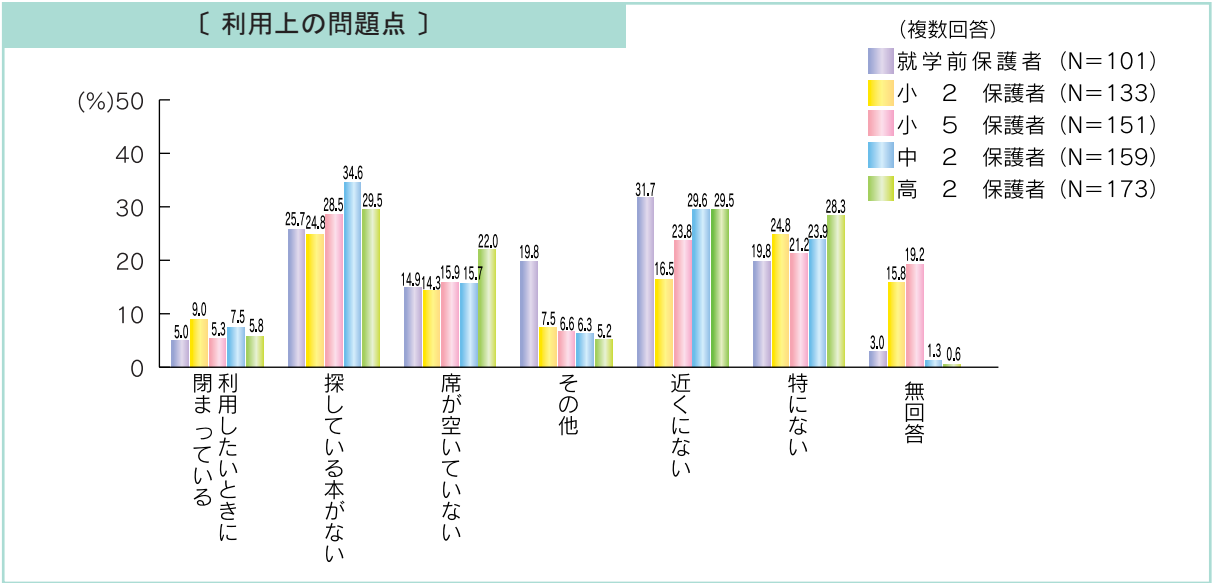


〔来館頻度〕



〔主な目的〕





13. 公共施設内の図書室の利用状況

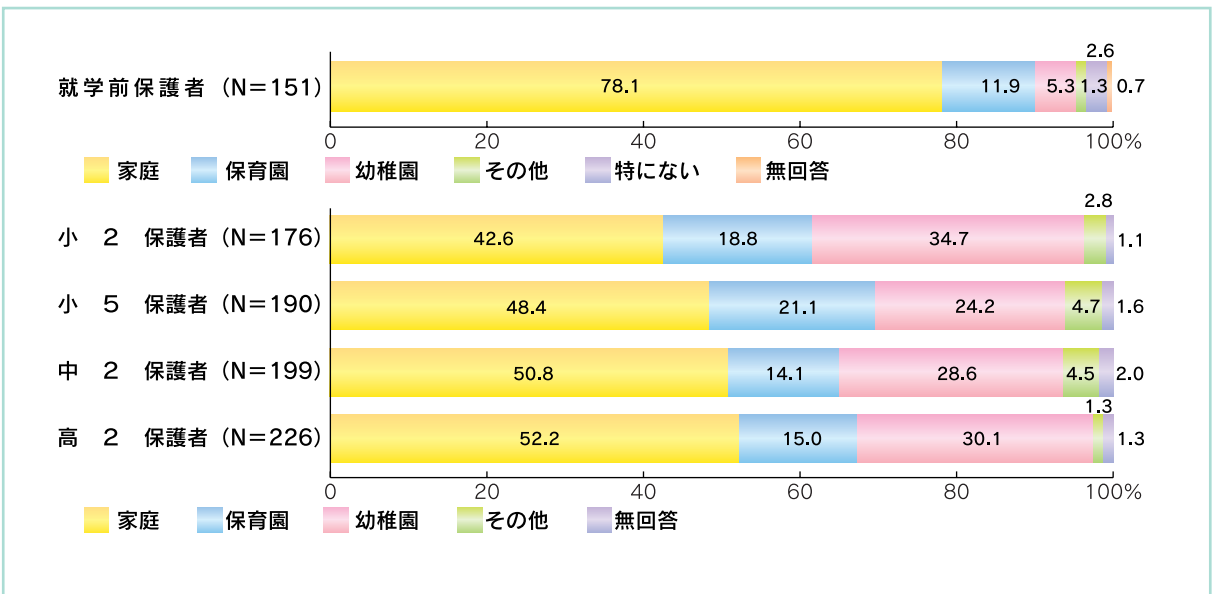
公共施設内の図書室のなかで、「公民館」が比較的良好に利用されている以外はあまり利用されていない。

(複数回答)

	サンプル数	公民館	美術館	博物館	少年科学文化会館	中央児童会館	男女共同参画推進センター(アミカス)	健康づくりセンター(あいれふ)	ふくふくプラザ	その他	あまり利用しない	無回答
子どもの学年別												
就学前保護者	151	19.2	2.6	2.0	2.6	5.3	-	1.3	1.3	5.3	60.3	4.6
小2保護者	176	11.4	2.8	4.0	5.7	1.7	0.6	3.4	1.1	11.4	60.2	6.8
小5保護者	190	14.7	4.7	3.2	7.4	-	0.5	1.6	1.6	11.1	64.2	2.1
中2保護者	199	5.0	5.5	2.5	4.5	1.5	0.5	3.0	0.5	11.6	65.3	6.5
高2保護者	226	11.9	5.8	4.0	1.8	0.9	1.8	0.9	1.8	11.5	66.4	2.7

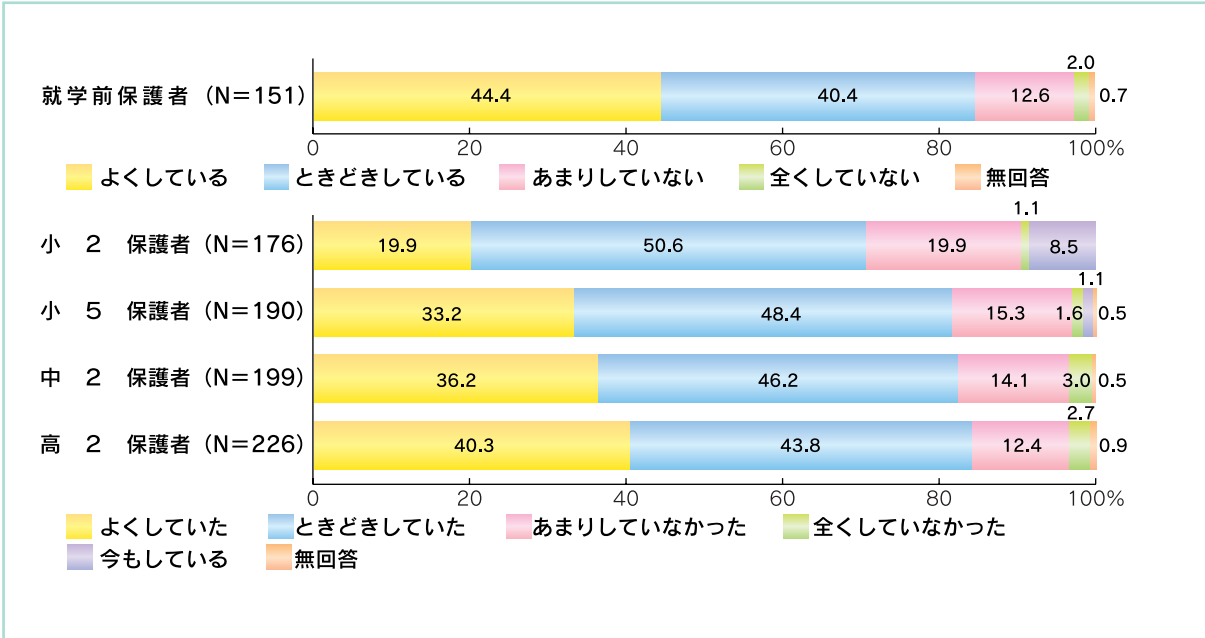
14. 読み聞かせの場所

子どもが読み聞かせをしてもらっている(いた)のは、就学前保護者では「家庭」が約8割と多いが、小・中・高校生においては「幼稚園」も2～3割程度みられる。



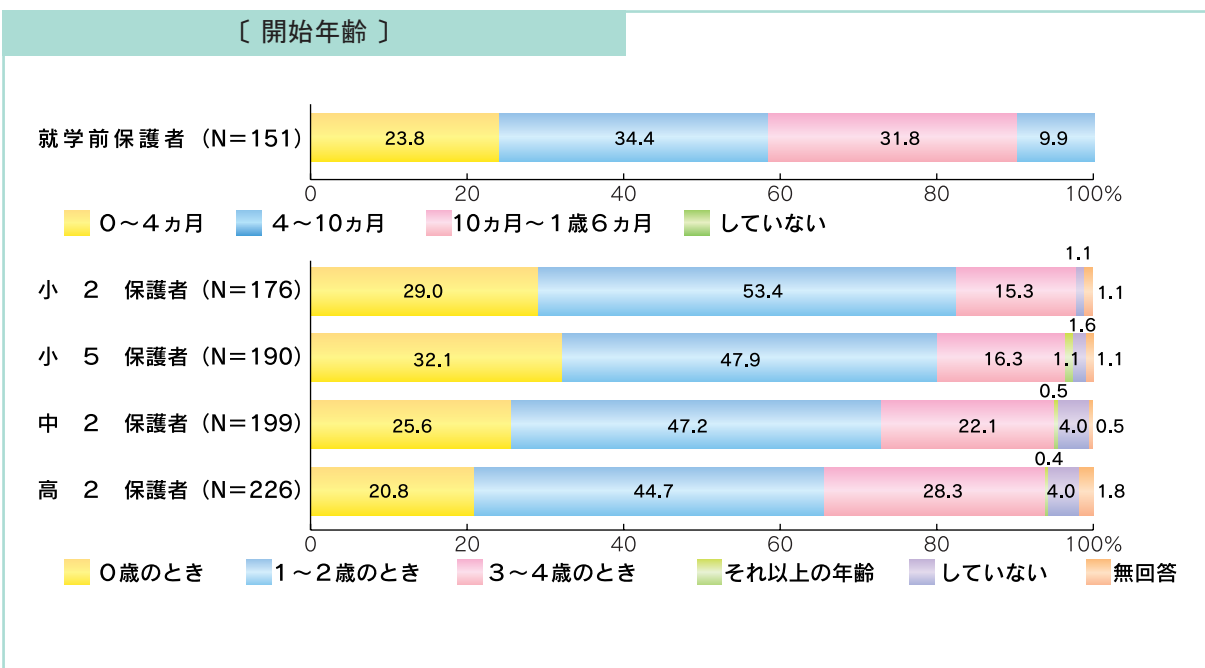
15. 読み聞かせについて

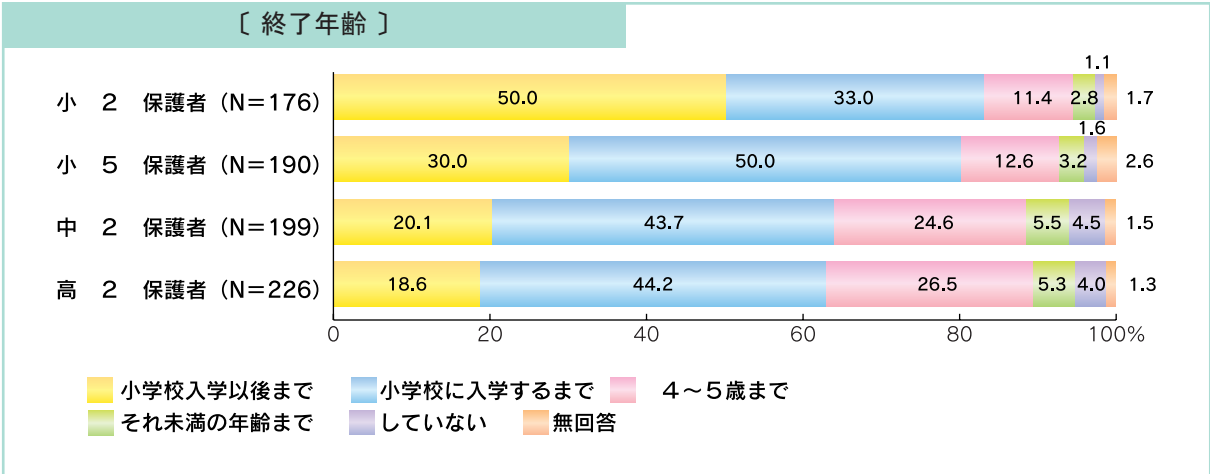
家庭での読み聞かせについては、就学前保護者では8割強の保護者が読み聞かせを行っており、小・中・高校生保護者についても8割前後の保護者が読み聞かせの経験がある。



16. 読み聞かせの開始年齢と終了年齢

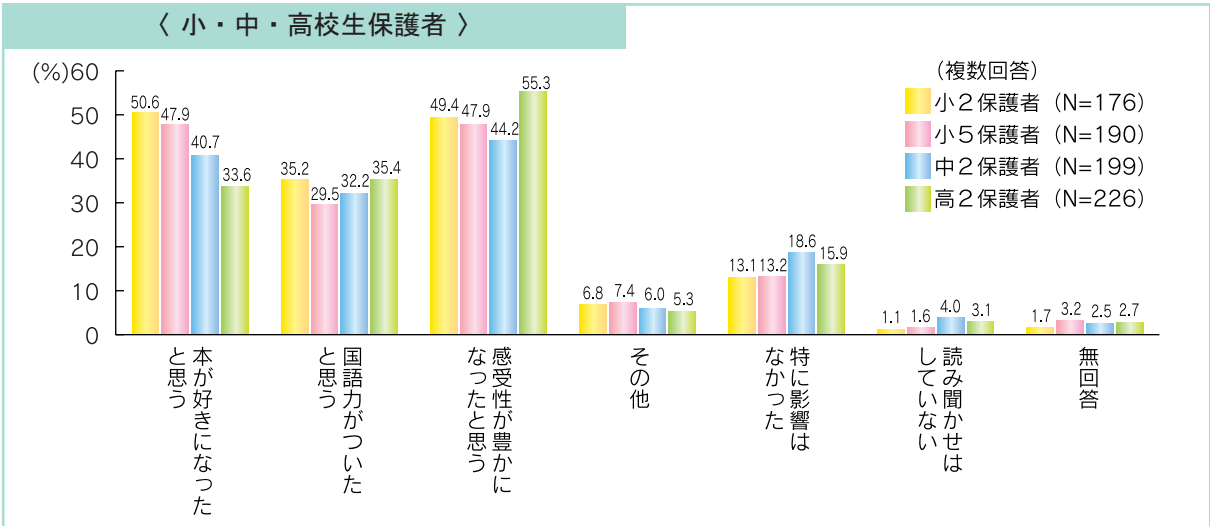
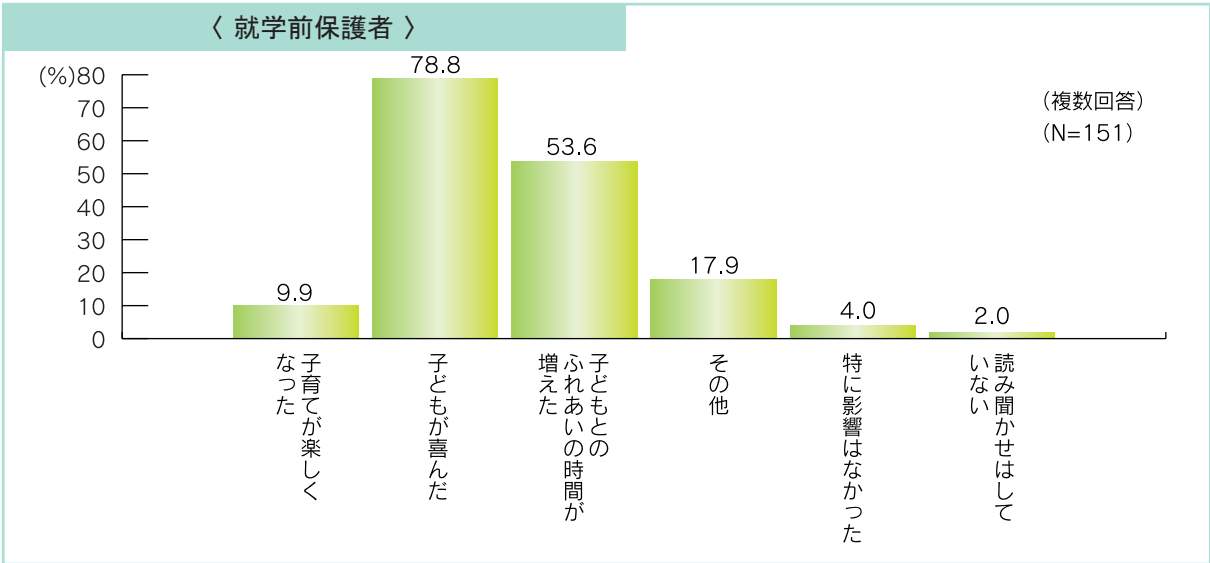
読み聞かせの開始年齢は、就業前保護者では「4～10ヵ月」の 때가最も多く、次いで「10ヵ月～1歳6ヵ月」の時に始めた人が多い。なお、小・中・高校生保護者では「1～2歳のとき」が5割前後を占め最も多くなっている。終了年齢は、「小学校に入学するまで」が小5・中・高校生保護者で多い。





17. 読み聞かせの影響

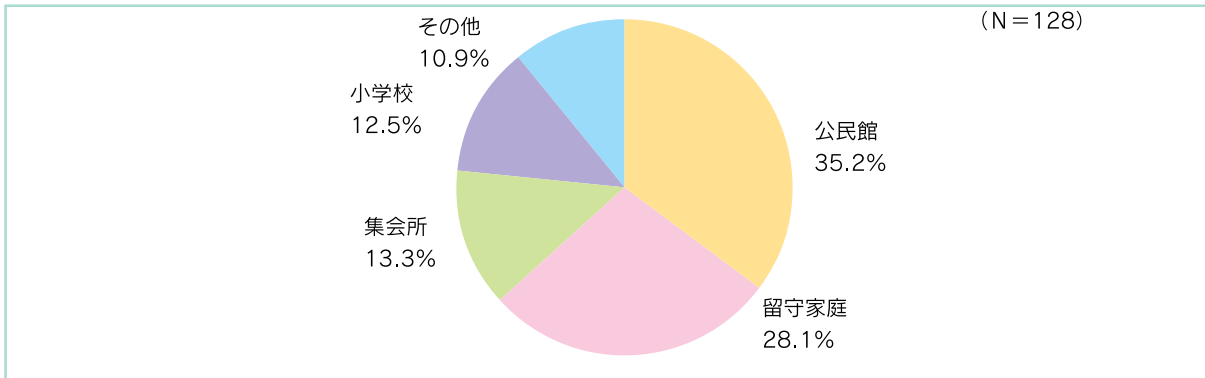
読み聞かせの影響については、就学前保護者では「子どもが喜んだ」、小・中学生の保護者では「本が好きになったと思う」と「感受性が豊かになったと思う」、高校生の保護者では「感受性が豊かになったと思う」と「国語力がついたと思う」ことへの評価が高くなっている。



V. 読書活動団体調査

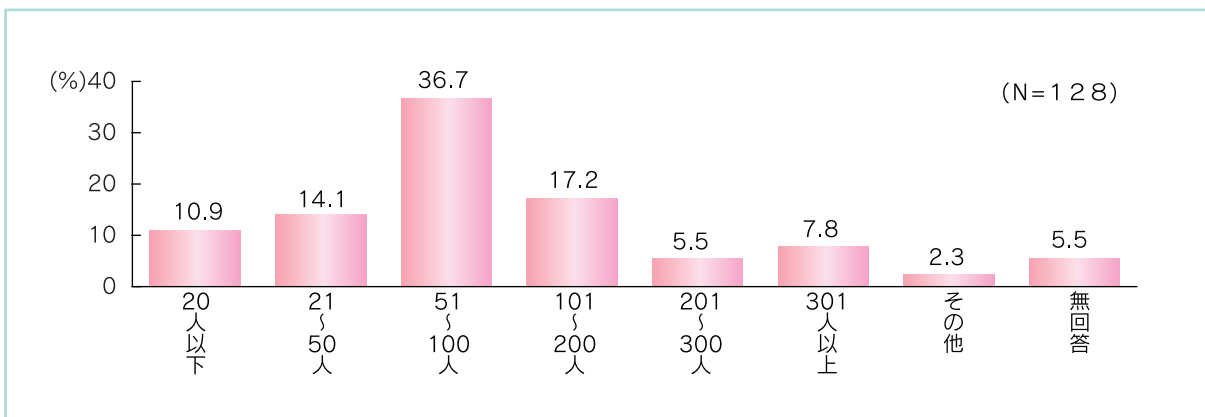
1. 読書活動団体の種類

福岡市にある読書活動をしている団体の種類で最も多いのが「公民館」で**35.2%**である。次いで「留守家庭」(**28.1%**)で、この**2種類**で全体の6割以上を占めている。以下、「集会所」(**13.3%**)、「小学校」(**12.5%**)、「その他」(**10.9%**)となっている。



2. 会員数

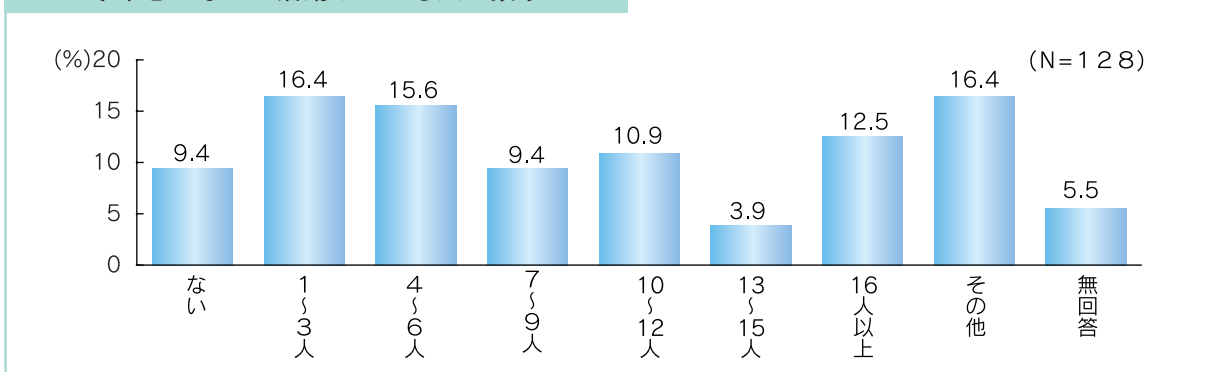
会員数をみると、「**51～100人**」規模の団体が最も多いものの、全体的には「**20人以下**」の小団体から「**301人以上**」の大きな団体まで幅広く分布している。



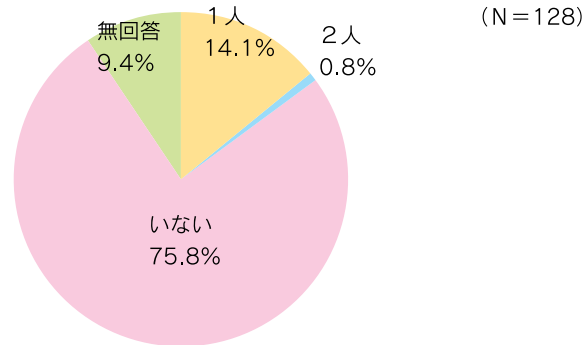
3. 中心となって活動している人の数

団体の中で読み聞かせの催しなどをして中心となって活動している人の数としては「**1～3人**」や「**4～6人**」、次いで「**16人以上**」が多い。司書資格者の有無では「**いる**」団体は**14.9%**で、「**いない**」団体の方が多い。

〔中心となって活動している人の数〕



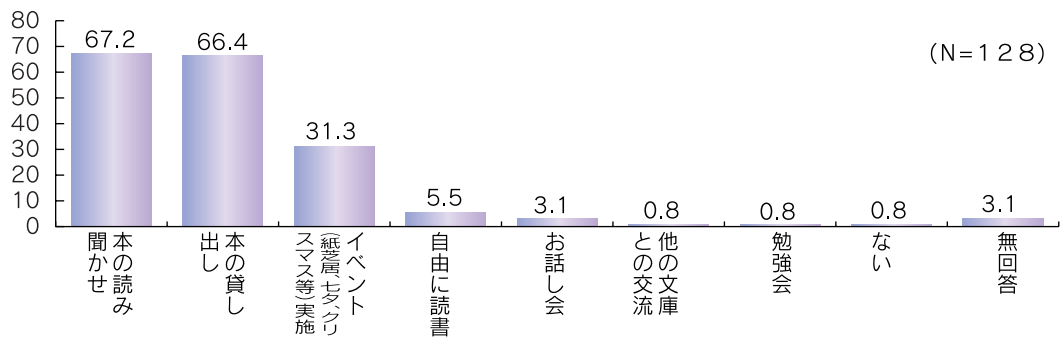
〔 司書資格者の有無 〕



4. 活動内容

各団体の活動内容としては、「本の読み聞かせ」「本の貸し出し」「イベント実施」が主なものである。月間の平均参加人数としては「**101人以上**」というところが最も多い。

〔 活動内容 〕



〔 月間平均参加人数 〕

